

中馬企画『夢追い人の集い』

夢を追い続ける強い心を育てる

子供の頃に憧れたもの、学生時代に描いた夢、それぞれに夢見たものはあつただろう。

私たちは、それをいつ、手放したのだろう。そして手放した理由は、何だろう。

能力なのか、子供じみていたのか、それとも常識という壁なのだろうか。

■日 時： 平成22年1月30日(土) 13:30~15:30

■会 場： 渋谷「FORUM8」

住所：東京都渋谷区道玄坂2-10-7

交通：JR線・東横線・東京メトロ渋谷駅より徒歩13分

■会 費： 8,000円

いい大学を出て、いい会社に入っても、終身雇用は約束されにくい時代になってきてしまった。こんな時代だからこそ、自分の頭で考え、自分の足で一步を踏み出す力と知恵が必要だと思う。4人の夢追い人の日々の生活と、夢に向かう心のあり様をお聞きします。

4 人 の 夢 追 い 人



高野 登

今年9月末に35年間勤めたホテルマンとしての生活にピリオドを打ち、ふるさと長野のために立ちあがった。長野市長戦はわずか3週間という短い選挙運動にもかかわらず現職の市長と670票という僅差まで追い上げた。そして、今高野氏は、ふるさとに貢献すべく運動をし始めている。ふるさと戸隠から見下ろす長野は観光国であるにも関わらず光を失っている。商店街に人気はなく、シャッターを下した店がめだつ。事業を後継した二代目や若者たちとともにおもてなし長野になるべく一步を踏み出している。



原 伸介

横須賀生まれの37歳。信州大学を卒業して、子供のころから慣れ親しんだ山にあこがれ、炭焼き師の道を選んだ。都会育ちの彼にとって、現実に対峙する山の炭焼きとしての生活は想像以上に過酷なものだった。当然炭は売れない。心の病気にもなった15年間。しかし今、彼は笑っている。全国の学校から彼の規格外れの生き方が注目を浴びている。



清水 慎一

長野県伊那北の生まれ。家業のお菓子屋を継いだ二代目。突然彼はお菓子修行としてパリに渡る。パリ中の老舗店をわたり腕を磨きふるさとに帰る。今伊那北のそのお店には、人と笑顔があふれている。菓子づくりは夢創り…子供たちに描いてもらった夢のあるモチーフそのままのケーキを個々に贈る平成のサンタクロースでもある。その数は600個を超える。また彼はカカオを採取している子供たちに会いに南米に向かう。子供たちが生活の糧として採取したカカオは、チョコレートや、ケーキに形を変えていく。彼らにはそれが見えない。彼らに食べてもらうケーキを焼くために、南米に向かいに行く。



遠藤 夏緒

盛岡生まれ。関東圏に住んでいたが、5年前無農薬・オーガニックの生活を求め、長野の大岡村に転居する。植物図鑑も作る御主人と二人の子供をつれての移住である。北アルプスを見上げるその村の彼女の畑には、モンシロ蝶が舞い、収穫した野菜の葉っぱには、穴が点在する。農薬を使用しない野菜はあまく土も軟らかだ。町に降りるには一時間ほど山を下るしかない。だから遠藤さんのテーブルには自家製のものばかりが並ぶ。現金収入はごくわずかも利便性と引き返しにして得た本物の上質な時間と暮らしがそこにはある。

中馬企画 <http://www.chumakikaku.com/>

ことづくりプランナー 中馬 幸子 sachiko@chumakikaku.com Tel 090-1401-9880